

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公表番号】特表2009-502810(P2009-502810A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-523045(P2008-523045)

【国際特許分類】

C 07 K 14/47 (2006.01)

A 61 K 38/00 (2006.01)

A 61 P 31/04 (2006.01)

C 12 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

C 07 K 14/47 Z N A

A 61 K 37/02

A 61 P 31/04

C 12 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1の90-276アミノ酸からなるポリペプチド、または少なくとも14個の連続アミノ酸を含み、そして配列番号2の161-269、161-276、165-269、165-276、183-269もしくは183-276アミノ酸または配列番号1の255-276、255-268、242-268、242-276もしくは242-276アミノ酸を含む、そのフラグメント。

【請求項2】

配列番号2の161-269、161-276、165-269、165-276、183-269および183-276アミノ酸ならびに配列番号1の255-276、255-268、242-268、242-276および90-276アミノ酸からなる群から選択されるアミノ酸配列からなるポリペプチド。

【請求項3】

ポリペプチドが配列番号3、5、6、7または10に記載のアミノ酸配列からなる、請求項2に記載のポリペプチド。

【請求項4】

配列番号1の255-276、255-268、242-268および242-276アミノ酸からなる群から選択される、請求項2に記載のポリペプチド。

【請求項5】

ポリペプチドがヒトTFPIのフラグメントである、請求項1～4のいずれかに記載のポリペプチド。

【請求項6】

動物における微生物感染の処置に用いるための医薬組成物であって、請求項1～5のいずれかに記載のポリペプチドを、薬学的に許容される担体と共に含む医薬組成物。

**【請求項 7】**

微生物感染がグラム陰性菌感染である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

**【請求項 8】**

グラム陰性菌感染が大腸菌感染である、請求項 7 に記載の医薬組成物。

**【請求項 9】**

微生物感染が敗血症を惹起する、請求項 8 に記載の医薬組成物。

**【請求項 10】**

ヘパリンを含まない、請求項 6 ~ 9 のいずれかに記載の医薬組成物。

**【請求項 11】**

動物における微生物感染の処置用医薬の製造における、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のポリペプチドの使用。

**【請求項 12】**

微生物感染がグラム陰性菌感染である、請求項 11 に記載の使用。

**【請求項 13】**

グラム陰性菌感染が大腸菌感染である、請求項 12 に記載の使用。

**【請求項 14】**

微生物感染が敗血症を惹起する、請求項 13 に記載の使用。

**【請求項 15】**

補体系を有する動物中の微生物を殺傷する医薬の製造における、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のポリペプチドの使用。